



# NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

Page 1

## MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

**会員総数 770人**

医師 162人

コメディカル 608人

**【管理栄養士紹介登録数42人】**

平成20年7月20日現在

### 《目次》

～子供の生活と糖尿病～ 武居 正郎先生……	Page 1
研究会等の実施報告……	Page 2、3
西東京糖尿病療養指導士養成講座開講のお知らせ ……	Page 4

### ～子どもの生活と糖尿病～

当会理事 武居小児科医院 武居 正郎

町を歩いていて子どもの声を聞くことがなくなって久しい。子どもたちは何をしているのだろう。テレビ、ビデオ、DVD、ゲーム、パソコンの普及で家の中で遊んでいる事が多くなっている。土曜日や日曜日に6時間以上ゲームをしている子どもが子どもの25%以上居ます。二番目として、外で遊んでいても木陰やベンチでゲームをしている光景を見かけます。三番目は子どもを巻き込んだ事件です、四番目は西東京市公園の噴水と子どもの声がうるさいと近所の老人が裁判に訴え、噴水が止められ、子どもが外で遊べなくなっています。五番目として、塾や習い事が盛んな事です。夜9時や10時ごろに塾が終わった後にコンビニの前では子どもの声をしばしば聞きます。六番目として、日曜日には学校などで野球やサッカーをしている風景を見掛けますが、これらのほとんどが大人に管理されたスポーツです。七番目としては食事です。子どもに迎合した食事内容と、孤食です。家族揃って、その日にあったことを話しながら家族揃って食事をして欲しいです。また、テレビを見ながらスナック菓子やジュース、清涼飲料水を飲んだりする生活をしている子どもが多く居ます。その結果としてぶよぶよとした体型の子どもをしばしば見掛けます。

ゲームをしている時、テレビを見ている時、前頭葉の血流は少なく側頭葉の血流は多いです。反射神経だけでものは考えていません。本を読む、友達と話をする、何をして遊ぶのかと考えるとき、鬼に追いかけてどう逃げようかと考えるとき、ゲームでなく友達とトランプや麻雀をしている時には大脳に血液は多く流れています。

このような子どもの生活を見ていると日本の国の糖尿病は減るどころかどんどん増え続けると思います。糖尿病の人口を減らすには、糖尿病の患者さんたちにあなたの子どもや孫は糖尿病になる遺伝子を持っている可能性が強いので、あなただけでなくあなたたちの子どもや孫も一緒に食事や運動など生活を見直すように指導して欲しいと思っています。



## 研修会等の実施報告

### 第43回 NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 総会

平成20年6月28日（土）「武蔵野公会堂」において開催されました。

平成20年6月28日（土）武蔵野公会堂にて、NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 総会を開催いたしました。

【議題】第1号議案 平成19年度事業報告、第2号議案 平成20年度事業計画  
第3号議案 平成19年度決算報告、第4号議案 平成20年度予算案

貴田岡理事長が総会員数764名中308名の出席（表決委任者109名を含む）により定款第30条に定める定足数三分の一を満たすため、総会の開会を宣言しました。互選により貴田岡理事長を議長に選出し、植木副理事長が19年度に実施された事業報告について説明を行い、収支決算については貴田岡理事長が説明を行った後、その内容について審議を行い、いずれも全会一致で原案のとおり承認されました。予定した審議をすべて終了し、定期総会を閉会しました。会員の皆様のご尽力により、19年度を無事に終えることができ、誠にありがとうございます。20年度も引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。



#### ～功労賞授与式～

総会終了後、当研究会における長年の功績により、当会理事の武居正郎先生と矢田眞理子先生に功労賞が贈られました。



### 第7回 西東京CDE研究会総会

平成20年6月12日（土）「府中グリーンプラザけやきホール」において開催されました

7月12日（土）の15：30より、府中グリーンプラザにおいて、第7回 西東京CDE研究会総会が開催されました。テーマは「高齢者の在宅医療を支える医療連携を考えよう」で、コメディカルを中心とした150名ほどの参加者により、同テーマを議論しました。プログラムは大きく3部構成からなり、まずは特別講演として、財団法人東京都医療保健公社 多摩北部医療センター 内分泌科部長 中野忠澄先生に「高齢者における糖尿病医療の課題」というテーマでご講義いただき、本編講演としては、「高齢者の在宅支援の実際と問題点～それぞれの立場から～」というテーマに沿って、それぞれの職種の講師から、実際の現場における在宅支援の現状・課題などについて提起がなされました。最後に、「高齢者の在宅医療を支える医療連携を考えよう」とのテーマで、シンポジウムが行われ、会場の参加者から寄せられた質問に、講演をされた講師がパネラーとして答える形で、活発なディスカッションが繰り広げられました。地域連携の重要性が叫ばれる中で、「顔の見える関係・連携が大事」との中野忠澄先生（コメンテーター）のコメントが印象的で、まさにそれが連携を有効に機能させるポイントのように思われました。



## 第43回 NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 例会

平成20年6月28日(土)「武蔵野公会堂」において開催されました。

平成20年6月28日に吉祥寺駅前にある武蔵野公会堂にて第43回例会が実施されました。前半は女子栄養大学栄養学部教授本田佳子先生の「糖尿病の食事療法における糖質摂取の意義」というテーマのご講演、そして後半に、中部労災病院院長堀田饒先生による「糖尿病の国際戦略と日本の方針」というテーマでご講演をいた



だきました。天候にも恵まれ、多くの方々が出席され、活発な議論が行われました。本田先生のご講演は、最近、食事療法における糖質制限の意義が話題になっている中で、糖質摂取率がどの程度が妥当なのかという視点で行われました。米国での糖尿病治療における栄養勧告では、炭水化物摂取率が大きく変遷しているのに対して、日本では55%前後で一貫しています。ブドウ糖を速やかに供給する炭水化物はエネルギー源として重要であり、制限するのは問題があるのではないかという議論が中心になりましたが、炭水化物制限が減量のためには優れた手段であるとの最近のレポートもあり、まだまだホットな話題として目が離せません。堀田先生のご講演では、アメリカとその他の国々という緊張関係の中で、日本人の関係者がもっと国際機関で活躍すべきであると強調されました。日本の糖尿病研究・診療のレベルがこれだけ優れたものになっ

ているのに、国際関係の中での発言が少ない現状を憂慮され、若い人々が、世界的視野に立って発想し、海外での多種の人々と連携し、活動の場を広げ、日本に対する世界の期待にこたえる必要があると、説得力のある話に会場内は深く感銘を受けまし



た。



## 研究会他のお知らせ

当会理事 一 かの小児科院長 一 菅野 一 男  
 直接事業  間接事業

### ◆ 第2回 西東京運動指導体験セミナー (※お申し込みが必要です)

開催日 : 平成20年9月20(土)21(日) 1泊2日  
 場所 : ウェルサンピア多摩 (東京都多摩市落合2-31-1)  
 参加費 : 18,000円 (宿泊費、3食込み)  
 募集人員 : 42名 (先着順)  
 申込み : 同封の申込用紙に必要事項をご記入のうえFAXでお申込みください。  
 ※詳細は同封の別紙チラシをご参照ください。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 (第2群) : 2単位申請中

## ・第8回「西東京糖尿病療養指導士養成講座」開講のご案内と申込受付



開 催：平成20年9月4日（木）第1講開講  
 以降12月4日（木）まで、週1回火曜日から木曜日から金曜日に計13回実施  
 時 間：19:00～21:00（開場18:30）  
 会 場：立川女性総合センター アイム1階ホール（立川駅北口徒歩7分）  
 （立川市曙町2-36-2 Tel.042-528-6801）

講義内容：「日本糖尿病療養指導士 受験ガイドブック 2008」に沿っておこなう

受講料：13,000円

講義日程： 9月：4日(木) 9日(火) 16日(火) 30日(火)  
 10月：9日(木) 14日(火) 21日(火) 30日(木)  
 11月：6日(木) 11日(火) 21日(金) 25日(火)  
 12月：4日(木)

定 員：190名（定員に達し次第締切）

参加資格：糖尿病療養指導に1年以上携わった経験のある方（自己申告）

LCDE認定既取得者は受講をご遠慮ください。

テキスト：日本糖尿病療養指導士認定機構 編

「日本糖尿病療養指導士 受験ガイドブック 2008」を使用します。  
 （日本糖尿病療養指導士認定機構発行、(株)メディカルレビュー社発売）

\*テキストは、開講日までに各自ご用意下さい。

書店にご注文頂くか、インターネットで購入できます。

→7&Y(セブアンドライ) <http://www.7andy.jp/books/>  
[amazon\(アマゾン\)](http://www.amazon.co.jp/) <http://www.amazon.co.jp/>

申込方法：8月7日（木）よりインターネット及びファックスにて申込を受付けます。  
 （\* 定員に達し次第締め切ります。）

- 1) 申込書に必要事項を記入してお申込下さい。
  - ①インターネットをご利用になれる方  
 →<http://www.nishitokyo-dm.net/whatsnew.html>からお入り下さい。
  - ②インターネットをご利用いただけない方  
 →事務局（042-322-7468）までお問合せ下さい。
- 2) 1週間を目安に、お手元にコンビニエンスストア払込票をお送りします。  
 \*ご入金が確認された時点で、申込受付完了となります。  
 \*コンビニ払込受領証をもって領収書と替えさせていただきます。  
 ※必ず受講当日まで保管しておいて下さい。
- 3) ご入金を確認できた方には、順次「受講票」（ハガキ）を送付致します。
- 4) 受講日当日、「受講票」をご持参の上お越し下さい。  
 \*申込書1枚につき、1名の申込となります。受講を希望するご本人の  
 名義でお申込下さい。

その他：学生受講について

次の条件を二つとも満たす学生の方で、受講をご希望の方は事務局まで  
 お問合せ下さい。受講のための小論文審査があります。

- 1) 小児サマーキャンプに2回以上参加したことがある。
- 2) 当研究会の理事・監事・評議員推薦。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 リेंटワ'ザ' 402  
 TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478  
<http://www.nishitokyo-dm.net> Email: [w\\_tokyo\\_dm\\_net@ybb.ne.jp](mailto:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp)

